



## 医療従事者らが国民集会

社会保障の充実や医師・

看護師・介護職員の大増員と待遇改善、戦争法ストップなどを求めて22日、

「憲法いかし、いのちまもる国民集会」が東京・日比谷野外音楽堂で開かれました。

▼関連④面

札幌市内の病院で働く看護師の佐賀史織さん（29）は、「自分が戦争の当事者になってしまふ恐怖を感じる。国会前行動に2回行つて、人任せでなく自分が声をあげなきゃと思うようになった」と参加。「憲法違反の法律いらない」「看護師増やせ」など500人余がコールを響かせて、銀座をパレードしました。

集会は11回目。全国保険医団体連合会や全日本民主医療機関連合会、日本医療労働組合連合会（医労連）な

ど11団体の実行委員会の主催です。主催者あいさつで

医労連の中野千香子委員長は、医療や介護の充実を運動して数々の成果を得てきたものの、財界やアメリカの圧力を受けた安倍政権による攻撃はさらに強まっていると強調。「『こうこと聞かせる番だ、国民が』『いうこときかないなり』といつとやめてくれ」と突きつけるときだと訴えました。

呼びかけ人2氏があいさつし、現場からリレーーーク。精神科医で立教大学教授の香山りかさんが「みんなで声を上げれば、何かが変わる」と力強いエールを送ります。日本医師会会長のメッセージを紹介。日本共産党の清水忠史衆院議員と倉林明子参院議員があいさつしました。

1/23  
吉旗

# 患者・医師・介護士ら各分野リレートーク

憲法いかし、いのちまもる集会

22日、東京都内で開かれた「憲法いかし、いのちまもる国民集会」では、患者、医師、介護士、看護師など各分野のリレートークが行われました。

「オール沖縄」のた



要求をかける、「憲法いかし、いのちまもる10・22国民集会」の参加者=22日、東京・日比谷野外音楽堂

たかいを報告した沖縄民医連の上地大（うえち・だい）さんは「辺野古埋め立ての承認取り消しを表明した翁長雄志知事を支え、戦争につながる新基地建設を断念させ、普天間基地を無条件撤去させます。戦争しない日本の歴史を守ろう」と呼びかけました。

原三恵子理事長は「この病気は、日本で誤解され、差別されてしまつた。患者の3割が寝たきりに近い重症状態

がもうとしている。軍事費を増やして医療費がどうとしている。軍会の歯科医師杉山正隆さんは「保険のきかな

なのに、医療や障害の助成対象になっています。支援してほしい」と訴えました。

全国保健医団体連合会の歯科医師杉山正隆さんは「保険のきかな

を削ることは許せない」と強調しました。

東京民医連介護職部会の漆原沙織さんは「介護職員不足で負担が増しています。安倍政権は『介護離職をなくす』というが、何も分かっていない。介護制度を根本から変えないと解決しません」と批判しました。

医労連から国立病院の院内保育所で働く枝野幸子さんが発言。「看護師が育児しながら働くための保育所が民間委託になり、職員の雇用は不安定で、低賃金です」と訴えました。看護師の中丸登代子さんは「当局は、働きやすくするはずの保育所を、夜勤や休日勤務を増やすための口実にしている。処遇改善のため、看護師も保育職員も一緒に頑張ります」と話しました。